

市民の切実な願い実現へ全力



「戦争法案」反対パレードで訴える神戸市議員団。左から、林まさひと議員、一人おいて、今井まさこ議員、朝倉えつ子議員。

安全安心を最優先 神戸市決算議会審査



教育委員会に中学校給食中断問題で申し入れる日本共産党神戸市議員団

中学校給食が7区で中断 安全・安心な自校調理へ転換を

11月に全校実施を予定していた中学校給食。調理していた民間業者の衛生管理基準違反で契約解除。東灘と西区をのぞく全中学校で給食がストップする事態となつていま

今回の最大の原因は、コスト優先のデリバリー方式(民間委託)です。日本共産党議員団は、自校調理方式を含む安全・衛生面に責任を持てる方法で、早く中学校給食を再開するよう求めています。

公立幼稚園の存続を ママパパ・地域の署名2万超す

教育委員会は6月、9つの公立幼稚園の閉園計画を発表。保護者や自治会などが短期間で2万人以上の反対署名をあげました。市民の批判をうけた神戸市は、3カ所の閉園を一年遅らせることを発表。「地域から公立幼稚園をなくさないで」の願いにこたえ、閉園計画を撤回すべきです。

土砂災害・防災に支援策を

地球温暖化に起因する台風や集中豪雨被害の増加への対策が遅れています。横浜市など30を超える自治体が独自に民有地の減災対策などへの公的支援を実施しています。日本共産党議員団は、神戸市でも、丘陵地の多い地形にあった支援の実施を求めています。

戦争法の廃止

神戸から平和の願い発信を

安倍自公政権は「戦争法」(安保法制)を強行採決しました。市議会本会議で、赤田かつのり議員は、市長に戦争法の撤回を国に求めるよう迫りました。久元市長は「廃止・撤回を国に求めない」「今後、必要な準備が進められていく」など、容認する立場を鮮明に

しました。「戦争法」には、神戸市の管理する空港や港湾などの施設の軍事利用を求める「協力」条項があります。今年是非核「神戸方式」40周年です。「戦争法廃止、立憲主義を取り戻す」一致点で協力して、平和な港まち、神戸を守るため全力でがんばります。



本会議で市長に質疑する赤田かつのり議員

「安保法制」廃案求める 請願採択

神戸市議会総務財政委員会

9月17日に開かれた、総務財政委員会で、法案に反対するママと有志の会の「慎重審議」を求める陳情と新日本婦人の会の「廃案」を求める請願が、賛成多数で採択されました。しかし、本会議で陳情者らの意思を盛り込んだ意見書案は、自民党、公明党に加え、陳情に賛成した民主党や維新の党、志民党も反対し、否決されました。

不正を許さない

自民党神戸の公金不正流用 3447万円の返還求め、市議会は刑事告発

「自民党神戸」市議員団による政務活動費の不正流用は、総額3447万円にもものぼることが明らかになりました。日本共産党議員団は問題発覚後、議長に百条調査委員会の設置や刑事告発などを求め、市長にも刑事告訴を申し入れました。議会では検討会が設置され、市議会として、

不正に関与した議員を刑事告発するとともに、不正流用の全額の返還を求めています。

日本共産党議員団は、本会議で市長に刑事告訴を求めました。しかし久元市長は「議会の責任で解決されるべきで、告訴は考えていない」などと拒否しています。